

第2回桐生市史編さん審議会 議事録

日 時：令和4年8月26日（金）午前10時00分～午前11時40分

会 場：桐生市立中央公民館403号室及び404号室

出席者：別添名簿のとおり

1. 開会

2. 『新編 桐生市史』編さん基本計画（案）について

- ・資料に基づき事務局から説明した。

【主な質疑応答】

[委員]

- ・紙の書籍を補完するためにデジタルを活用してほしい。
- ・広報きりゅうに編集委員による記事の連載をしてほしい。
- ・大間々・笠懸・東についても、桐生に関連がある部分は取り扱ってほしい
- ・『絵図・地図』で1冊とし、国土地理院の赤色立体地図を活用してほしい。絵図を1～2枚、原寸大で付図として差し込んではどうか。また、『写真』は独立して刊行し特別編を全7冊としてはどうか。
- ・正式タイトルとは別にメインタイトルの書名を付ける形としてはどうか。
- ・判型はB5判でよいか。A5判の方が本棚には入りやすいが写真等を載せにくいところもあり、サイズにより利点と欠点がある。カバー付き、函無しの体裁は賛成。
- ・専門家だけでなく一般の方に手に取ってもらうため、書籍コードを付けて県内や全国で販売をしてほしい。市民頒布価格と市販価格を分ける二重価格とするのも一つの案である。また、予約制として発行後の残部を極力少なくするのはどうか。
- ・校閲者をどのように確保するのか。
- ・一般家庭向けに、簡略版『桐生の歴史百科』のようなものを作ってはどうか。
- ・博物館建設構想について、市民に醸成され実現することを望みたい。

[委員]

- ・中学生が読んでも分かり、学校でも使えるものを作ってほしい。中学生が読めるものは大人でも読み応えがある。広く読まれる導入になるものを作ってほしい。

[委員]

- ・計画案では令和4年度から8年度は刊行が無いとため、市民から厳しい声が出ることが予想される。広報の連載や講演会の他に報告書なども出すべきではないか。
- ・特別編『絵図・地図・写真』を刊行するよりは、むしろ通史編に写真などを多く入れ、通史編を分かりやすくすべきではないか。
- ・資料編を近代と現代の2冊に分け、通史編を5冊にしてはどうか。
- ・文字資料だけでなく聞き取り調査も重視してほしい。
- ・審議会委員に高校生や大学生を入れ、若者の視点を取り入れてほしい。

[委員]

- ・各業界の人に集ってもらい、年に1回程度、座談会をやってみてはどうか。
- ・特別編に『桐生の織物』とあるが、桐生はものづくりのまちで産業全体が大事。
- ・これまでに『文化祭史』が3巻発行されているものの、年表に文化祭の記載はなかった、その一方でスポーツは取り上げられている。そういった偏りを無くすことが大事である。
- ・博物館建設構想の意見に賛成である。行政が史資料保存に真剣に取り組んでいく姿勢が大事である。市民も以前から活動し訴えていることである。

[委員]

- ・特別編『絵図・地図・写真』は残していただきたい。一般の人にとっては、絵図や写真を見て興味を持ち、そこから通史編を読むという方がいいのではないか。

[委員]

- ・特別編『絵図・地図・写真』を残す意見に賛成。子どもや高齢者が入りやすい。前回の桐生市史は記述が細かく資料としてはとてもよいが、子どもたちに教える時には写真が一番よいと思う。また、15冊刊行には賛成である。前回の市史は1冊がとても重い。子どもたちに教える際には、持ち運びがしやすい体裁がよい。

[副会長]

- ・計画案に示された目的や方針は、賛同できる。
- ・特別編に『桐生の織物』『スポーツと文化』『建造物』とあるが、それぞれが連携しているのではないか。織物が文化を育み、その文化が新しい産業を作っていくと思う。連関しているものを独立した巻にしてもよいのか。
- ・『建造物』も、大正末期から昭和初期に作られたものが多く残っている。それは織物産業の繁栄に裏付けられており建造物もその財力を元に作られた。建造物を単体で説明するよりは、織物の産業の繁栄があってこそ、今に残っているという経緯を明らかにすると、その成り立ちが分かってくるのではないか。
- ・織物産業は桐生の骨格であるが、織物の準備機械や織機などの製造が機械金属産業を生み出していった。そういった歴史があまり語られることがない。このようなことが『桐生の織物』の中に含まれるのか、通史編に盛り込まれるのか。機械金属関連産業は織物から発展して、戦後は疎開企業が残り、自動車部品製造業やパチンコ産業などに発展した流れがあるため、そういったものを明らかにできる特別編にさせていただけるようお願いしたい。

[委員]

- ・黒保根地区と新里地区は村誌が刊行されているが、今回の市史は原始古代から書くのか村誌刊行以降の時代から書くのか、それとも合併以降からになるのか。いずれにしても空白ができない記述をお願いしたい。

[委員]

- ・館林市史では『絵図と地図にみる館林』と『館林とツツジ』が最も売れたとのことである。そうしたことを考え、『絵図・地図』と『写真』を分冊する提案をした。

絵図・地図や写真は、子どもから大人まで伝承しやすく魅力がある。視覚に訴えることが教育的にどれだけ大事かということは計り知れないことである。

- ・索引を作るよう検討してほしい。

[委員]

- ・特別編の『絵図・地図・写真』への意見について、相対する意見をもらったが、『絵図・地図・写真』に反対ということではなく、通史編を見やすくするためには、写真や絵図を多く入れることが欠かせないと考えて、そのための議論が必要と思ひ、意見表明したものである。

[委員]

- ・若い世代が理解できる市史を作るには、若い世代が審議会に加わってほしい。
- ・意見にあった『桐生の歴史百科』を学校で使用できるものにしようとするならば、子どもたちの意見が大切になってくることを考慮していただきたい。

[委員]

どうしても難しくなってしまうので、アニメなどの特別編を1冊作るのはいかがでしょうか。

[委員]

- ・編集委員会を代表し審議会に参加しているが、概ね賛成をいただき感謝申し上げます。頂いたご意見は、次回の編集委員会で検討させていただく。また、今後の部会活動にも活用してまいりたいと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。

[委員]

- ・編さん事業の予算は、毎年、確保されるものか。長期の事業になると、例えば市長の交代などで、万が一事業費がカットされてしまう可能性はないか。もし途中で頓挫してしまったら残念である。

[会長]

- ・本日、委員の皆さんにご審議いただいた、『新編桐生市史』編さん基本計画（案）につきましては、基本計画のなかに実施計画も含めた形式を採られているようですので、今回は、実施計画の部分にたくさんの意見をいただいたかと思ひます。結論といたしましては、編さん基本計画（案）に示された編さんの目的や基本方針については、委員の皆さんにご同意いただけたと受け止めています。

[事務局]

- ・広報きりゅうへの記事連載につきましては、来年早々には、編集委員の先生方による連載を開始していただけるよう取り組みたいと考えております。
- ・大間々、笠懸、東の調査につきましては、計画案のとおり、本市に係る史資料について調査対象として進めていただくことを考えております。
- ・特別編『絵図・地図・写真』につきましては、ご審議のなかでご同意いただいたと捉えておりますので、計画案のとおり進めたいと考えます。
- ・体裁につきましては、計画案のとおり B5 判ということで進めたいと考えます。
- ・販売方法等につきましては、進捗状況にあわせて検討してまいりたいと考えます。

- ・校閲者につきましては、今後、研究してまいりたいと考えます。
- ・家庭版につきましては、編集委員会でも館林市史の普及版のような写真が多いものを作ってはどうかのご意見がありましたので検討してまいりたいと考えます。
- ・令和4年度から8年度は、計画案のとおり資料集や報告書の発行、広報への記事掲載、講演会など、調査研究の成果を発表する方法を検討したいと考えております。
- ・高校生や大学生などの若い世代を審議会委員に入れてはどうかのご意見につきましては、どのような募集や依頼が出来るかなど、なかなか難しい面もありますので、今後の課題として検討してまいりたいと考えます。
- ・座談会の開催とのご意見につきましては、今後、研究してまいりたいと考えます。
- ・博物館構想につきましては、計画案のなかでも、調査研究の成果を継承し市民の方に活用していただくことは重要なことと捉えておりますので、今後の課題として研究してまいりたいと考えます。
- ・黒保根・新里村誌からの空白が出来ないようにということにつきましては、編集委員会でも協議されておりますので、そのように進められるものと考えております。
- ・審議会の日程につきましては、今後、出来る限り委員の皆さんが全員出席できるような日程を検討してまいりたいと考えます。
- ・アニメの作成というご意見につきましては、漫画版を刊行している自治体があり、わかりやすく手に取りやすい良いものとなっておりますので、今後、編集委員会にも提案をしてご協議していただけるよう検討します。
- ・予算へのご意見につきましては、市全体の予算もあることからお答えすることは難しい面がありますが、市長から、しっかりとした良い市史の編さんを期待しますとの指示を受けているところであり、編さん事業が大事な事業であるとの認識を持って進めてまいりたいと考えております。

3. 今後のスケジュールについて

[事務局]

- ・本計画案につきましては、次回の編集委員会において、本日ご審議いただいたご意見を提示し協議していただいたのち、次回の編さん審議会において再度ご審議いただき答申としてまとめたいと考えます。なお、次回の審議会は10月下旬を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

4. その他

[委員]

- ・議事録要旨をいただきたい。

[事務局]

- ・議事録要旨は審議会開催ごとに作成し公開しているので、お渡ししたい。

5. 閉会

以上